

富士野鞍馬 総執川柳作家、書家。明治二十八年十月十二日京都市上京區生乳、昭和五十一年歿（八五—一九七七）。本名安之助。明治四十二年京都市立商業實修學校卒。酒精酒類製造に従事、大正製酒、寶酒造の勤務。全國雜酒副組合長、中央酒類價格調節委員會委員を歴任。大正三二年紫川柳社を興し、十一年川柳久良伎社幹事、のち番傘川柳社幹事、傍ら古川柳を研究。昭和十二年泰東書道院院友、四十一年川柳人協會より川柳文化賞を受く。

著書に『川柳鞍馬集』（昭和十年十一月二十日の刊）、『川柳譚話』の『昭和四十九年九月二十四日ハクビ京都市立の学院』等。

